

いわさきちひろ生誕100年  前進座公演

協力=ちひろ美術館


原案=松本 猛 台本=朱 海青 演出=鵜山 仁

ちひろ

— 私、絵と結婚するの —



あなたの知らない
若き日のちひろに
会いに来ませんか？

 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本文化芸術振興会

「窓ガラスに絵をかく少女」「あめのひのおるすばん」(至光社)より 1968年

2019年10月16日(水) 島根県民会館 中ホール

開演14:00(開場13:30) // 開演18:30(開場18:00)

ご観劇料金
(全席自由)

一般 5,000円

学生(中学生以上)・障がい者 3,000円

後援団体：松江市教育委員会・読売新聞松江支局・山陰中央新報社・島根県生活協同組合・演劇鑑賞会松江市民劇場・
いずも演劇鑑賞会・米子市民劇場・放送大学島根同窓会

主催：前進座「『ちひろ』松江公演」を観る会 連絡先：竹下靖彦 携帯電話 080-3056-0487

いわさきちひろ
生誕100年
前進座公演

ちひろ

— 私、絵と結婚するの —

原案=松本 猛 台本=朱 海青
演出=鶴山 仁 装置=乗峯 雅寛
照明=石島奈津子 衣裳=原 まさみ
効果=川名 あき 映像=浦島 啓

いわさきちひろ生誕100年、なぜ、ちひろは子どもたちのしあわせと平和を願って絵筆を握り続けたのか——ちひろがその生き方を決めた原点を探ります。

ものがたり

1946年5月一焼け跡にバラックや闇市のひしめく東京・新宿駅に、くたびれたボストンバッグを提げ、つば広の帽子をかぶった一人の女性が降り立った。

“絵描きとして自立する”という熱い想い、そして消せない過去との葛藤をかかえて。彼女の名は岩崎ちひろ。小さな新聞社に就職し、師や友を得、東京での居場所を見つけていくちひろ。そんなちひろの前に、澄んだ目をした一人の青年が現れた…。

戦争が奪った絵筆、そして戦争が描かせた絵…。敗戦直後の激動の時代を駆け抜けたちひろ、彼女をめぐる若者たち、絵描きたちの青春の物語！



2018年の舞台より



スケッチブックを持つちひろ
1960年



応援しています

山田洋次
(映画監督・公益財団法人
いわさきちひろ記念事業団
代表理事)

黒柳徹子
(女優・ちひろ美術館館長)



2019年 10月16日(水) 島根県民会館 中ホール (全席自由席)

★開演時間 14:00 (開場 13:30) // 18:30 (開場 18:00)

★ご観劇料金 一般 5,000円 / 学生 (中学生以上)・障がい者 3,000円

【主催】前進座 “『ちひろ』松江公演”を観る会

連絡先: 竹下靖彦 (松江市上乃木4丁目12番37号) 携帯電話 080-3056-0487

【後援】松江市教育委員会・読売新聞松江支局・山陰中央新報社・島根県生活協同組合
演劇鑑賞会松江市民劇場・いずも演劇鑑賞会・米子市民劇場・放送大学島根同窓会

チケット取扱所

島根県民会館チケットコーナー・プラバチケットコーナー窓口・今井書店
演劇鑑賞会松江市民劇場・出雲市民会館・米子市民劇場・放送大学島根同窓会